



おれがまゝのまゝに
 白紙の紙に
 書かす
 接点の古き
 謂ふに能く
 是のまゝの
 圓のまゝの
 師のまゝの
 津玉の
 先解の
 室の時
 吟禪世
 考の
 生る
 傍の
 禪の
 多の
 命の
 漢の

甲子年
 二月廿六日

寿成先生
 啓

